

◆ 今週のコメント

- 新型コロナウイルス感染症の報告が249例(男性134例(10歳代13例, 20歳代31例, 30歳代22例, 40歳代20例, 50歳代22例, 60歳代11例, 70歳代9例, 80歳代2例, 90歳代3例, 年齢非公開1例), 女性111例(10歳代8例, 20歳代24例, 30歳代16例, 40歳代14例, 50歳代13例, 60歳代9例, 70歳代9例, 80歳代8例, 90歳代4例, 年齢非公開6例), 性別及び年齢非公開4例)あり, 本年の累積報告数は7,747例になりました。

本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。

○新型コロナウイルス感染症 最新の動向

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>

- レジオネラ症(肺炎型)の報告が2例(70歳代男性及び60歳代女性)あり, 症状はどちらも発熱, 肺炎です。本年の累積報告数は11例となりました。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が2例(80歳代男性及び80歳代女性)あり, 本年の累積報告数は13例となりました。
- 梅毒の報告が1例(50歳代男性)あり, 感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は25例となりました。
- RSウイルス感染症の定点当たり報告数は3.95となり, 第18週から4週連続で増加しています。本市では過去10年間で, 2015年第50週(2.90)が最も多かったのですが, 第21週(3.47)から2週連続でそれを上回っています。マスク着用や咳エチケット, 手洗い等の基本的な感染症予防対策に努めましょう。

◆ 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>

京都市のRSウイルス感染症の定点当たり報告数は3.95(170例)となり, 前週の3.47(149例)から増加しました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類:結核 1例(肺結核 なし, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 なし)
【1月以降の累積報告数 98例(肺結核 35例, その他結核 35例, 潜在性結核感染者 28例)うち喀痰塗抹陽性 13例】
- 新型コロナウイルス感染症 249例【1月以降の累積報告数 7,747例】
- 四類:レジオネラ症 2例【1月以降の累積報告数 11例】
- 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 13例】
- 五類:梅毒 1例【1月以降の累積報告数 25例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

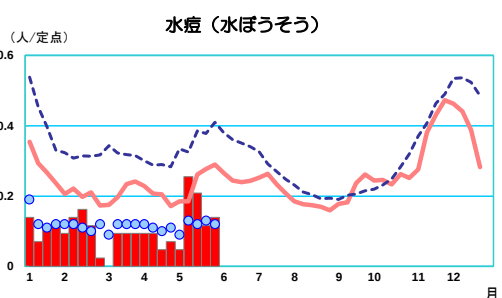
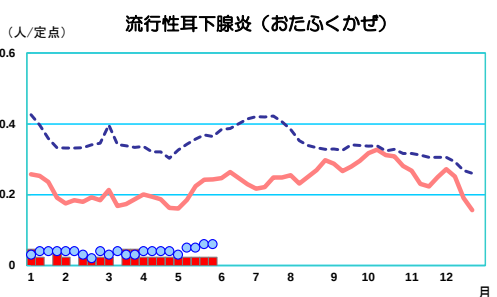
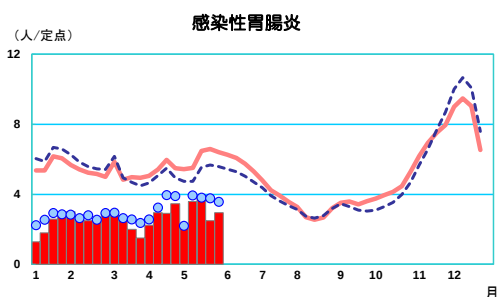
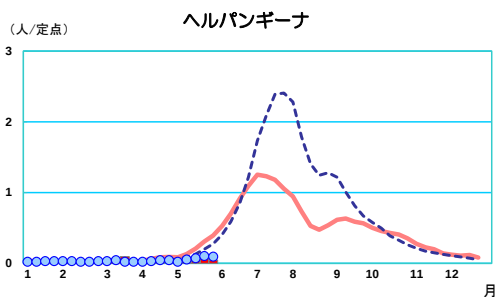
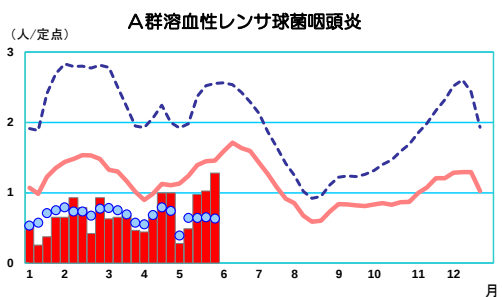
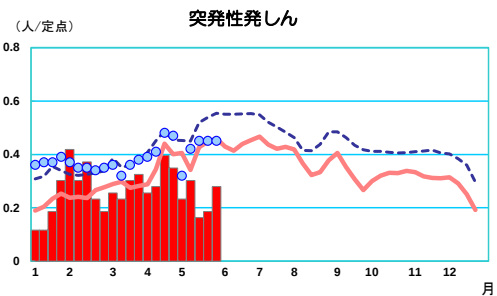
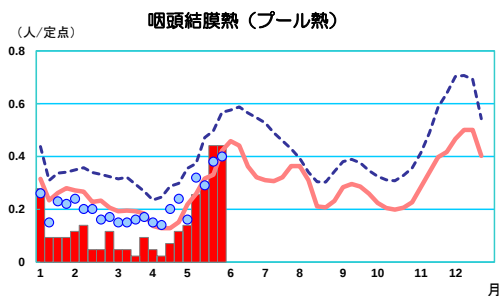
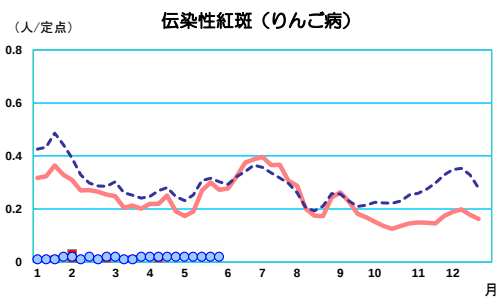
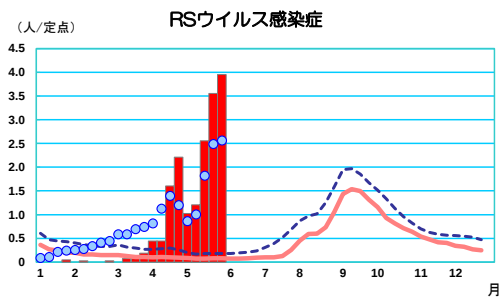
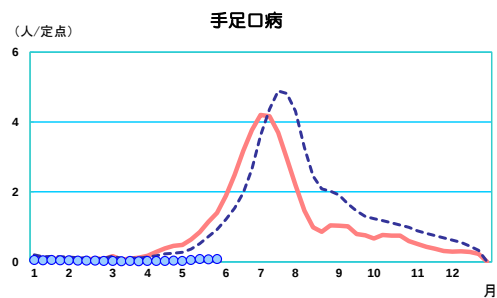
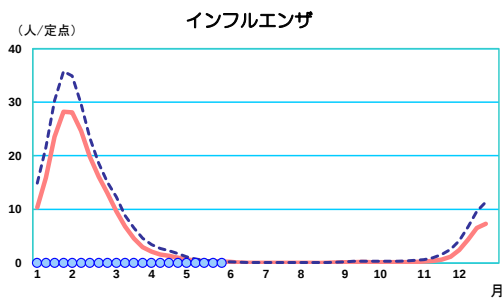
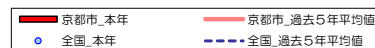
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① RSウイルス感染症	3.95	170
	② 感染性胃腸炎	2.95	127
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.28	55
	④ 咽頭結膜熱	0.44	19
	⑤ 突発性発しん	0.28	12
眼科	流行性角結膜炎	0.00	0

【次ページ以降の主な内容】

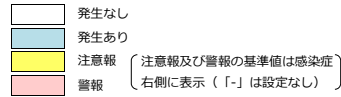
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 2021年6月9日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。
* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

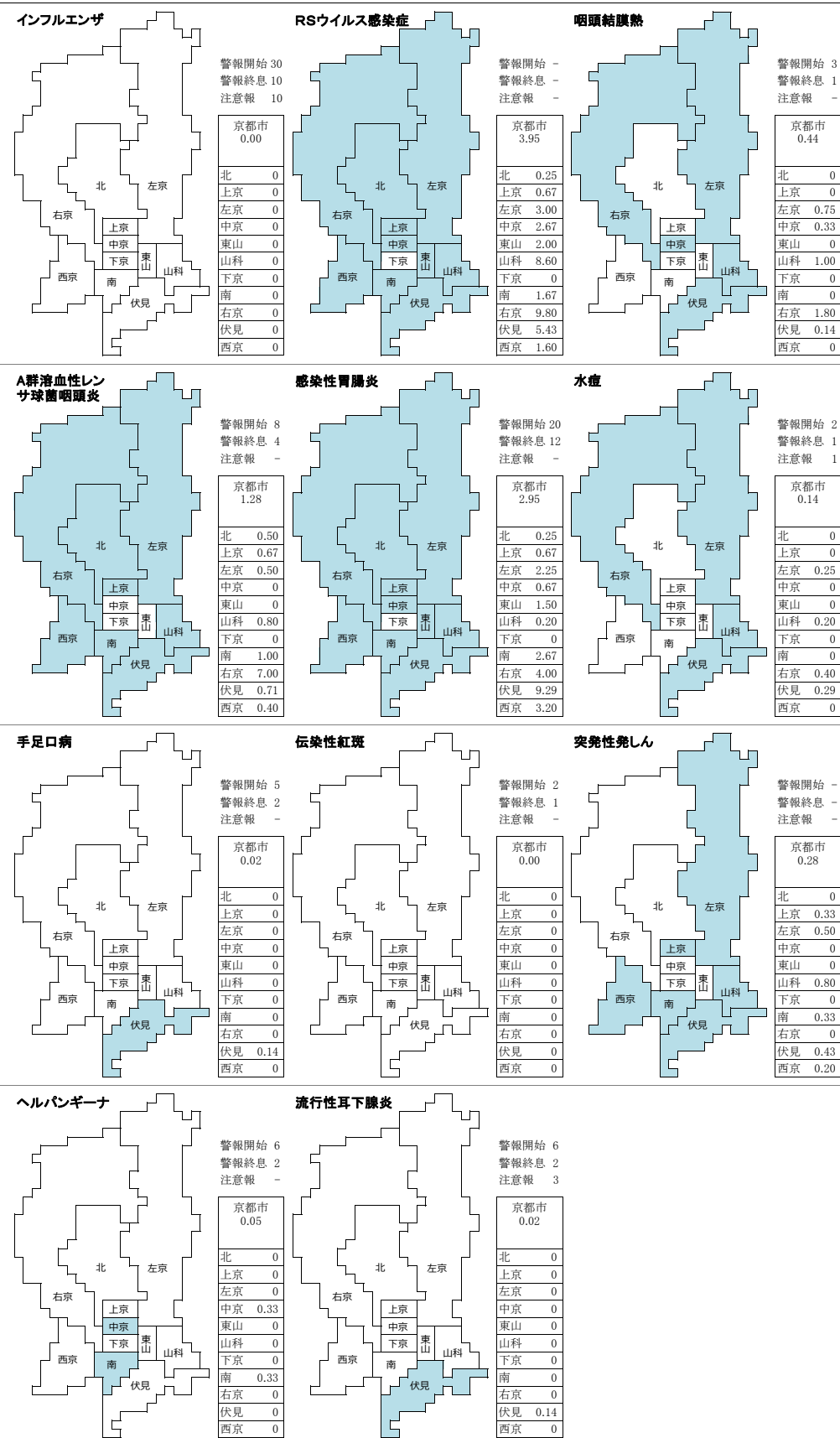
インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2021年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図 【2021年 第22週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
したがって、定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や
「規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。



第22週(5月31日～6月6日)トピックス: <RSウイルス感染症>

京都市のRSウイルス感染症の定点当たり報告数は3.95(170例)となり、前週の3.47(149例)から増加しました。第14週以降は継続して流行閾値(過去のデータから算出した値で、それ以上報告数が増えたら確率的に非常に多い発生と考えられる値)を上回っており、非常に多い発生状況と考えられます(図1)。

全国の発生動向は、今週の定点当たり報告数が2.56(8,046例)で、京都市同様に前週2.49(7,818例)から増加し、流行閾値も第10週以降継続して上回っています(図2)。

全国の発生状況を都道府県別にみると、宮崎県と鹿児島県が第1週より定点当たり報告数が1を超え、第10週には九州の5県と大阪府と岩手県の7府県、第20週には近畿の全ての府県を含む26府県、そして今週には29都府県が1を超え全国的な広がりを見せました(図3)。

年齢階級別の割合をみると、2011年から2020年まではほぼ同じ年齢構成で推移してきましたが、2021年は、第17週で指摘した時と変わらず、1歳未満が18.1%と半減、1歳は目立った変化はみられないものの、2歳及び3歳は2倍近くに増加し、4～6歳でも増えているという年齢構成となり、発生年齢が高年齢側にシフトしている可能性があります(図4)。

RSウイルス感染症は、年齢を問わず再感染を起こしやすく生涯にわたって感染を繰り返します。多くの場合軽い症状で済みますが、乳幼児期において、特に早産児や心臓・肺に疾患のある乳幼児、生後数週間～数ヶ月の乳幼児は、細気管支炎や肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあります。RSウイルス感染症にはワクチンや特効薬がなく、予防が重要です。

感染経路は、患者の咳やくしゃみなどによる飛沫感染と、ウイルスの付着した手指や物品を介した接触感染です。新型コロナ感染症で習慣化された手洗い、マスク着用、人との距離の適切な確保、人込みを避けるなどの衛生習慣や行動の他、子どもたちが日常的に触れるおもちゃや手すりなどをこまめに消毒するなど、接触による感染を予防しましょう。

図1 京都市の定点当たり報告数の推移

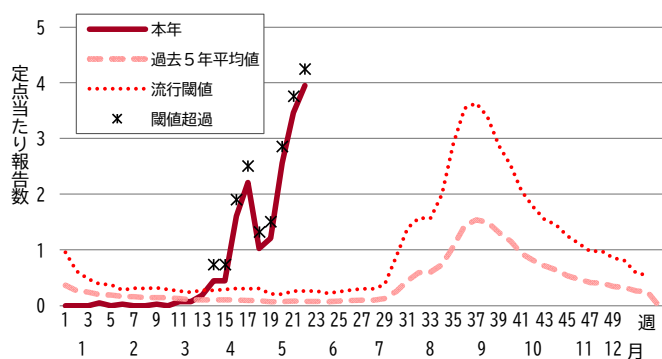


図2 全国の定点当たり報告数の推移

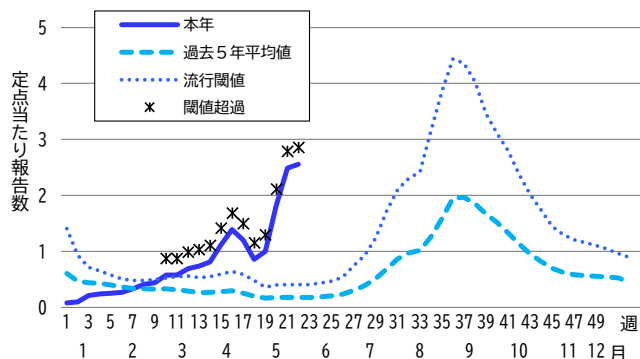


図3 全国の都道府県別推移マップ(第1週から第22週)

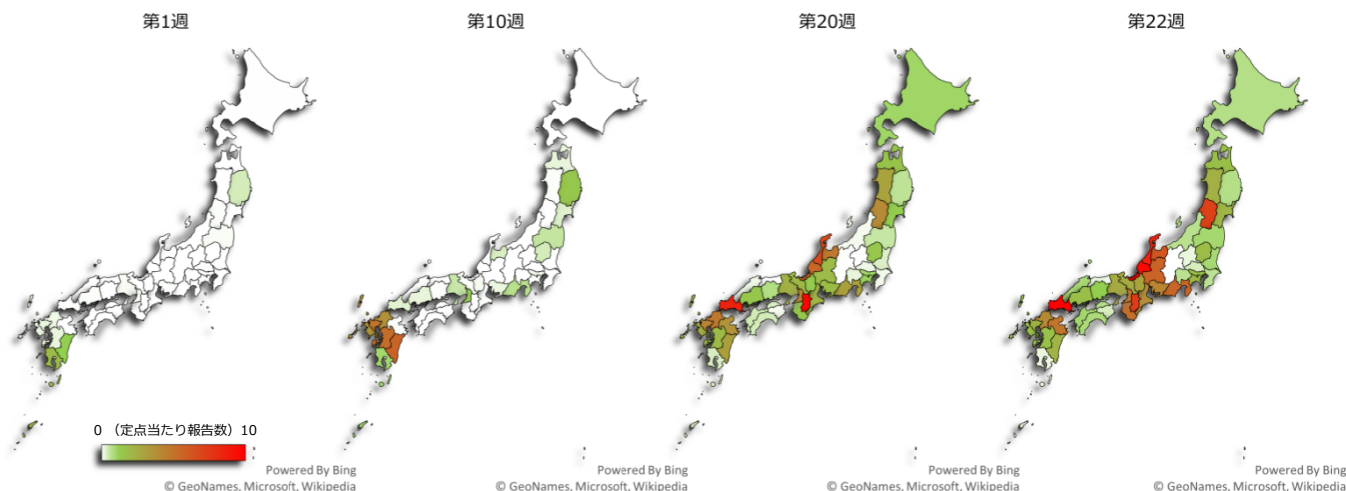
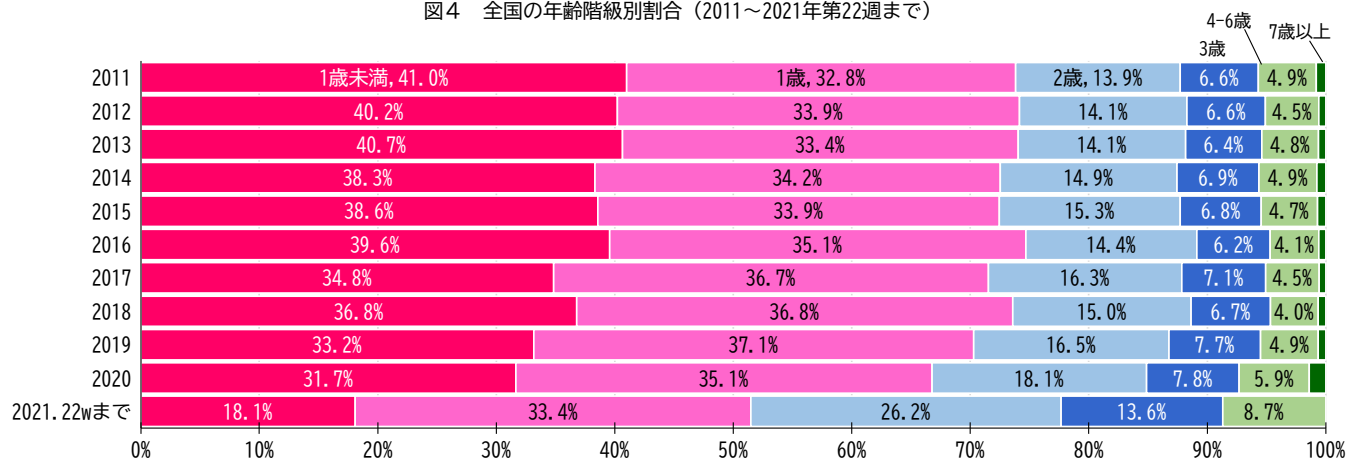


図4 全国の年齢階級別割合(2011～2021年第22週まで)



T3201		京都市感染症発生動向調査情報																
集計対象:2021年第22週																		
疾病,行政区別報告数		2021年5月31日～2021年6月6日										データ入手日:2021年6月9日						
	インフル エンザ （※1）	R S ウイルス 感染症	咽 頭 結 膜 熱	頭 炎 A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘル パン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急性 出血 性 結 膜 炎	流行 性 角 結 膜 炎	細菌 性 髄 膜 炎 （※2）	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プラ ズ マ 肺炎	クラ ミ ジ ア 肺炎 （※3）	感 染 性 胃 腸 炎 （※4）
男女合計																		
北	-	1	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-					
上京	-	2	-	2	2	-	-	-	1	-	-	-	-					
左京	-	12	3	2	9	1	-	-	2	-	-	-	-					
中京	-	8	1	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	4	-	-	3	-	-	-	-	-	-							
山科	-	43	5	4	1	1	-	-	4	-	-	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
南	-	5	-	3	8	-	-	-	1	1	-							
右京	-	49	9	35	20	2	-	-	-	-	-	-	-					
伏見	-	38	1	5	65	2	1	-	3	-	1	-	-					
西京	-	8	-	2	16	-	-	-	1	-	-	-	-					
京都市計	-	170	19	55	127	6	1	-	12	2	1	-	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数																		
	インフル エンザ （※1）	R S ウイルス 感染症	咽 頭 結 膜 熱	頭 炎 A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘル パン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急性 出血 性 結 膜 炎	流行 性 角 結 膜 炎	細菌 性 髄 膜 炎 （※2）	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プラ ズ マ 肺炎	クラ ミ ジ ア 肺炎 （※3）	感 染 性 胃 腸 炎 （※4）
男女合計																		
北	-	0.25	-	0.50	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-					
上京	-	0.67	-	0.67	0.67	-	-	-	0.33	-	-	-	-					
左京	-	3.00	0.75	0.50	2.25	0.25	-	-	0.50	-	-	-	-					
中京	-	2.67	0.33	-	0.67	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	2.00	-	-	1.50	-	-	-	-	-	-							
山科	-	8.60	1.00	0.80	0.20	0.20	-	-	0.80	-	-	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
南	-	1.67	-	1.00	2.67	-	-	-	0.33	0.33	-							
右京	-	9.80	1.80	7.00	4.00	0.40	-	-	-	-	-	-	-					
伏見	-	5.43	0.14	0.71	9.29	0.29	0.14	-	0.43	-	0.14	-	-					
西京	-	1.60	-	0.40	3.20	-	-	-	0.20	-	-	-	-					
京都市計	-	3.95	0.44	1.28	2.95	0.14	0.02	-	0.28	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第22週

年齢階級, 疾病別報告数

2021年5月31日～2021年6月6日

データ入手日:2021年6月9日

京都市	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 総数 総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月 ～5ヶ月 0歳	～11ヶ月 ～11ヶ月 ～11ヶ月 1歳～	1歳 1歳 1歳 5歳～	2歳 2歳 2歳 10歳～	3歳 3歳 3歳 15歳～	4歳 4歳 4歳 20歳～	5歳 5歳 5歳 25歳～	6歳 6歳 6歳 30歳～	7歳 7歳 7歳 35歳～	8歳 8歳 8歳 40歳～	9歳 9歳 9歳 45歳～	10歳～ 10歳～ 10歳～ 50歳～	15歳～ 15歳～ 15歳～ 55歳～	20歳～ 20歳～ 20歳以上 60歳～	30歳～ 30歳～ 30歳～ 65歳～	40歳～ 40歳～ 40歳～ 70歳以上	50歳～ 50歳～ 50歳～ 50歳～	60歳～ 60歳～ 60歳～ 60歳～	70歳～ 70歳以上 70歳～ 70歳以上	80歳以上
男女合計																						
インフルエンザ (※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	170	10	23	60	39	20	14	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽 頭 結 膜 熱		19	-	3	15	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		55	-	1	9	13	2	9	8	1	1	2	2	2	1	4	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		127	-	6	24	18	11	10	8	4	3	5	4	11	6	17	-	-	-	-	-	-
水 痘		6	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
手 足 口 病		1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝 染 性 紅 斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		12	-	5	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳－	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳以上						
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳－	5歳－	10歳－	15歳－	20歳－	25歳－	30歳－	35歳－	40歳－	45歳－	50歳－	55歳－	60歳－	65歳－	70歳以上				
インフルエンザ（※1）	年齢1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症	年齢3	3.95	0.23	0.53	1.40	0.91	0.47	0.33	0.07	－	－	0.02	－	－	－	－						
咽 頭 結 膜 熱		0.44	－	0.07	0.35	－	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.28	－	0.02	0.21	0.30	0.05	0.21	0.19	0.02	0.02	0.05	0.05	0.05	0.02	0.09						
感染性胃腸炎		2.95	－	0.14	0.56	0.42	0.26	0.23	0.19	0.09	0.07	0.12	0.09	0.26	0.14	0.40						
水 痘		0.14	－	－	－	－	－	－	－	0.07	－	－	－	0.07	－	－						
手 足 口 病		0.02	－	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
伝 染 性 紅 斑		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
突発性発しん		0.28	－	0.12	0.14	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
ヘルパンギーナ		0.05	－	0.02	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
流行性耳下腺炎		0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.02	－	－					
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
細菌性髄膜炎（※2）	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎（※3）		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎（※4）		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第22週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2021年6月9日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		–	–	–	–	–	–
RSウイルス感染症		95	44	52	110	153	170
咽 頭 結 膜 熱		5	6	11	13	19	19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		43	12	21	42	44	55
感染性胃腸炎		149	89	154	168	107	127
水 痘		3	2	11	9	5	6
手 足 口 病		–	1	3	4	3	1
伝 染 性 紅 斑		–	–	–	–	–	–
突発性発しん		15	10	13	7	8	12
ヘルパンギーナ		–	1	2	3	3	2
流行性耳下腺炎		1	1	1	1	1	1
急性出血性結膜炎		–	–	–	–	–	–
流行性角結膜炎		3	–	1	1	2	–
細菌性髄膜炎 (※2)		–	–	–	–	–	–
無菌性髄膜炎		–	–	–	–	–	–
マイコプラズマ肺炎		–	–	–	–	–	–
クラミジア肺炎 (※3)		–	–	–	–	–	–
感染性胃腸炎 (※4)		–	–	–	–	–	–
合 計		314	166	269	358	345	393

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		–	–	–	–	–	–
RSウイルス感染症		2.21	1.02	1.21	2.56	3.56	3.95
咽 頭 結 膜 熱		0.12	0.14	0.26	0.30	0.44	0.44
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.00	0.28	0.49	0.98	1.02	1.28
感染性胃腸炎		3.47	2.07	3.58	3.91	2.49	2.95
水 痘		0.07	0.05	0.26	0.21	0.12	0.14
手 足 口 病		–	0.02	0.07	0.09	0.07	0.02
伝 染 性 紅 斑		–	–	–	–	–	–
突発性発しん		0.35	0.23	0.30	0.16	0.19	0.28
ヘルパンギーナ		–	0.02	0.05	0.07	0.07	0.05
流行性耳下腺炎		0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
急性出血性結膜炎		–	–	–	–	–	–
流行性角結膜炎		0.30	–	0.10	0.10	0.20	–
細菌性髄膜炎 (※2)		–	–	–	–	–	–
無菌性髄膜炎		–	–	–	–	–	–
マイコプラズマ肺炎		–	–	–	–	–	–
クラミジア肺炎 (※3)		–	–	–	–	–	–
感染性胃腸炎 (※4)		–	–	–	–	–	–
合 計		7.53	3.86	6.33	8.40	8.18	9.14

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。